



スキヤーの滑降技術向上を実現するスキーブーツの開発

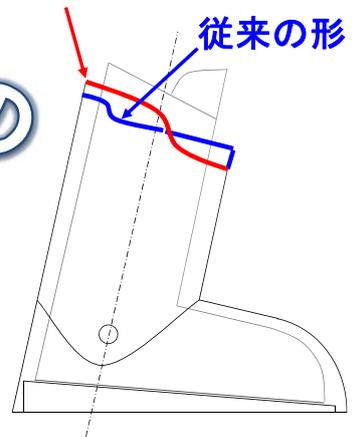
スキーブーツは、スキヤーの滑降技術向上や能力発揮、競技成績の向上に極めて重要です。

北見工業大学は、積雪寒冷地である北海道北見市にあります。過疎地の高齢者が、長く健康で過ごせるように、工学の立場から、冬季生涯スポーツの普及への貢献を目指しています。

日本人の骨格に適した形のスキーブーツ開発



日本人に適した形



スキーブーツの一般的構成

北見工業大学では、日本人は、欧米人と比べて、

- 平均身長が10cm低い
- 大腿・下腿の長さが短い
- 胴体の長さが長い

という特徴から、日本人でもバランスをとりやすく、すばやいターンを実現し、速く滑ることのできる日本人向けのブーツを開発しました。



より適切なブーツの実現を目指し、シェルの形状・寸法、フットベッド形状およびインソールなどの最適化を進めています。

形状・寸法を日本人向けに改良した開発ブーツを、世界トップクラスの日本人選手が使用し始めています。